

## ・ DX 推進計画により描く未来社会について

## ・ 行政サービスを受けやすくするための DX 推進について



清風クラブ  
やなぎさわ ひろゆき  
柳沢 浩之



詳しい内容は  
こちら

デジタル庁は、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化により、地域の活性化・地域の魅力が向上し、持続可能性が確保された社会の実現を目指すために基本方針を策定しました。本市としても、令和6年3月に、DX\*推進計画を策定し、デジタル技術を活用した行政サービスの効率化や利便性の向上を図るための様々な取り組みを実施し、行政のDX・地域のDXを推進し、スマートシティへの転換を目指しています。人に優しいDXの推進で、さらに光り輝くまちの実現について質問しました。その他、地域の暮らしを良くする

ためのDX推進について、西毛運動公園陸上競技場について、弓道場について、プロスポーツアカデミーについて質問しました。



文書の電子化もDXの一つ

※ DX …デジタルテクノロジーを使用して、業務効率や行政サービスなどをより良くしていくためのプロセス。

## ・ 古道「妙義道・榛名道」について

## ・ 碓氷峠廃線跡活用の取り組みについて

江戸時代には妙義神社と榛名神社をつなぐ道が市内を通っていました。この永遠の時代に想いを馳せる古道に焦点を当てました。そしてもう1点は、100年の歳月を刻む碓氷峠の鉄道をテーマに質問しました。両者とも安中の地域ブランドを構築するものです。安中には何もないと卑下する住民は少なくありません。長い間住んでいるとわからないのですが、一旦外から客観的に安中を見ると新鮮に映ります。地域ブランドとは、ここが安中だ、他の地域とはここが違うんだということを感情で認識し、信頼・信用として識別してもらうためのしるしです。効果的に地域ブランディングを進めるなら、

現存する資源をフルに活用するのが常套手段です。

古道「妙義道・榛名道」や碓氷峠の廃線跡は、磨けば光る原石です。この原石を本市がどうやって磨いていくのかについて、質問しました。



県内最古の江戸時代の「恵宝沢の道標」



日本共産党安中市議団

はらだ だい  
原田 大



詳しい内容は  
こちら